



第65号
豊明市立
沓掛中学校
発行日

令和3年3月3日

「厳しい経験からの学び」

校長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。沓掛中学校三十九回目の卒業生として、一人一人、二百四十一の目標に向かって旅立ちます。皆さんは、中学校生活の三年間に努力と経験を積み重ね、実力を蓄積してきました。沓掛中学校の卒業生としての誇りを胸に、自信をもって次の新たな世界に進んでいけると思っています。

今回の新型コロナウイルスは、私たちに多くの試練を与えました。長期間の休校。行動に制限を求められた日々の生活。例年通りにできなかった学校行事や部活動。中学校生活の集大成の年を迎えた皆さんにとって、これらは、とても辛く悲しいことだったと思います。しかし、皆さんは、この状況に前向きに取り組み一つ一つ乗り越えてきました。文化祭と体育大会を一つにし、「蒼天祭」として楽しもうという発想。全校で集まれなければ、全校生徒でできるものに取り組みもうと「モザイクアート」の制作。歌声の会

でのマスク越しの皆さんの歌声は、聴く人の心に強く響きました。制限された中で、どう楽しむか、どう実力を発揮するか。視点を変えたり、取組方を工夫したりすることで、皆さんは体現すると思えます。皆さんがこれから進む社会は、自由にできることばかりではありません。決められた枠組みやルールの中で成果を求められることが多いかもしれません。今回のコロナ禍での経験が必ず生きるときがあるはずですよ。

苦しいこと、辛いことには遭いたくない。順風満帆に過ごしたい。そんなふうに考えている人は少なくないと思います。しかし、厳しい経験こそが人を成長させ、実力を付けさせます。自分の将来の夢や目標を達成するため、自分の力の限りを尽くして取り組んでいってください。皆さんの今後の活躍を心から願っています。



「卒業おめでとうございます」

三年学年主任

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学年目標は「真剣」でした。この三年間、それぞれの活動にどれほど真剣に取り組めたでしょうか。物事に真摯に向き合い、熱心に取り組んでいる人は周りから応援され、愛される存在になると思います。そう願います。これまで皆さんと接してきました。どうかこれからも「真剣」に取り組むことを大切にしてください。さて、これまでを振り返ってみると、様々な場面でみなさんの輝く素敵な姿が思い出されます。中でも特に心に残っているのは、この一年。本当に特別な一年でした。これまで経験したことがないほどの変化。「いつも通り」がほとんどなく、変更を余儀なくされる場面ばかりでした。ただ、想像以上の柔軟性と適応力の高さを見せるみなさんの姿には目を見張るものがありました。きつと、それぞれの道を自信をもって歩んでいくものだと確信できました。これからも心から応援しています。三年間ありがとうございました。

二年一組担任

三年一組の学級目標「輝笑添結」。実は、私はこの目標をとっても気に入っています。全ての文字に意味があります。特に、後半の二つは卒業生の皆さんにぴったりの言葉だと思います。

「添」人に寄り添える、相手を思いやる心。

「結」人と人とを結びつける。

こんな困難な時代だからこそ、力強く生きてほしい。こんな困難な時代だからこそ、人と人との温かみを大切にしたい。心からそう思います。それと同時に、皆さんならきつと大丈夫だと確信しています。これからも自分を大切に、仲間を大切にしてください。ご卒業おめでとうございます。

二年二組担任

私は卒業生の皆さんに「たゆたえども沈まず」という言葉を送ります。これはパリ市の標語で、「揺れはするけど沈みはしない」という意味です。これからの人生、途轍もない荒波に晒され、挫折することもあると思います。しかし、どんなに辛くても、沈ませさえしなければ、前に進むことができます。どんな時でも決して沈ませない、と努力し続けられる人になってほしいと願っています。

三年間、本当にありがとうございました。



三年三組担任

アメリカのメジャーリーグで活躍したイチロー選手の言葉に、こんなものがあります。「壁というのは、できる人にし

かやってこない。越えられる可能性がある人にしかやってこない。だから、壁があるときはチャンスだと思ってる。」
実際に、みなさんも受験という壁を超えるために努力をし、それを成長につなげることができたと思います。この先もきつと、皆さんの前にいくつもの壁が出てくると思いますが、それをチャンスと捉え、大きく成長して行ってほしいと思います。

二年四組担任

卒業おめでとうございます。みなさんの成長を間近で感じる事ができ、うれしく思います。

「自分を磨けば周りが輝く」自分磨きをする则自分自身が輝くだけでなく、自然と良い仲間が集まり、楽しみや喜びが増え、生活が充実していくように感じます。皆さんとの生活を思い返してみると、一人一人が長所を生かし、個性が輝く場面がたくさんありました。そして、仲間や学級や学校全体に広がっていき、学校生活が輝いて見えました。



三年五組担任

この三年間、皆さんの成長を近くで見られたことを大変嬉しく思います。皆さん

んからたくさんさんのエネルギーをもらった日々でした。この先、嬉しいことも辛いこともたくさんあると思いますが、是非いろいろなこと挑戦をしてくださいます。失敗することもあると思いますが、必ず今後の糧となります。そして、今までの仲間、これからできる仲間を大切にしていきたいでしょう。必ず人生の支えとなってくれるはずですよ。みなさんの今後の活躍を願っています。ご卒業おめでとうございます。

三年六組担任

ご卒業おめでとうございます。昨年度からこの学年の担任として皆さんと一緒に過ごし、卒業生として送り出すことができたことを大変嬉しく思います。

私が皆さんに出会った時から伝えている、「縁を大切に」という言葉を、最後にも送ります。この三年間、クラスや部活動などの学校生活の中で、共に過ごした仲間とのつながりや思い出は何にも代えられない財産です。そして、これからそれぞれ道へ進み、その先でまた新しい出会いがあります。仲間と支え合ひ、切磋琢磨して、更に成長していく皆さんを楽しみにしています。



けやき学級担任

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、resilience(レジリエンス)という言葉を知っていますか。「回復力」「弾力性」と訳されますが、この言葉には「人が困難な状況に直面した時、すぐに立ち直り良い方向へ進んでいける力」という意味があるのです。

中学校を卒業し、これから皆それぞれ自分の選んだ道を進みます。失敗することや、辛いこともあるでしょう。そんな時でも、自分自身が持つresilience(レジリエンス)を信じて、夢に向かって歩んでいってください。心から応援しています。

進路指導主事

この一年、皆さんは自分の将来についてよく考え、進もうとする道を決めてきました。

しかし、進学や就職が人生のゴールではありません。自分の選んだ道で、どう頑張るか、何を成し遂げるかの方が大切だと思います。

皆さんが進んだ道で、活躍しているという声が中学校まで届くことを期待しています。そして、皆さんの行く手に、幸多きことをお祈りしています。

二年学年担任

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍という異常事態の中、例年とは違う毎日。それでも笑顔忘れず、元気に学校生活を送る生徒たちに励まされながらここまで過ごすことができました。本当

に感謝しています。まだまだ大変な日々が続くと思いますが、しっかりと前を向いて、一歩ずつ自分の足で進んでくれると信じています。

三年学年担任

ご卒業おめでとうございます。コロナによる休校明け、初めて美術の授業で会うわくわく感と、感染予防対策の緊張感が入り混じった不思議な雰囲気だったことが印象に残っています。週一時間の授業を楽しみにしている人が多く、特に最後の実技課題である木彫作品への取り組みは例年以上に充実していたように感じます。これからは、自分のアイデアが「目に見えるかたち」になる楽しさを味わってほしいと思います。

三年学年担任

週四日、七時五十分昇降口を開けて、登校して三年生に挨拶をさせてもらいました。コロナ対策でマスクの着用を奨励するためでしたが、素直に伝えてくれて多くの子が挨拶を返してくれました。そして、マスク越しでもうかがえる笑顔にいつも癒されました。中学校生活最後の年だったのに、楽しみにしていた行事が簡素化されたり中止になったり、放課や給食など友人との語らいにも制限の多い中、みんなよく頑張ったと思います。不自由でも明るく過ごしたこの一年の経験を今後役に立ててほしいものです。



二年学年担任

ご卒業おめでとうございます。素直で明るい皆さんと過ごした一年間は、不由の中にあっても楽しい思い出ばかりです。これまでも培ってきた力をもとに、これからも楽しんで英語と触れ合ってくれたらと思います。

「努力できることが才能である」という言葉があります。自分の夢や希望に向かって努力する姿勢を大切にしてください。行く手に幸あれと願っています。

三年学年担任

ご卒業おめでとうございます。三年生という特別な一年間を、マスクをした状況の中で友達と過ごさねばならなかったことは心残りであったことでしょう。久しぶりに出会えた皆さんがたくましく成長している姿に感動を覚えながら、一年間同じ空間にいられたことは幸せなことであったと感謝しています。これから、自分の足元をしっかり踏みしめさらに大きく成長されることを心から願っています。

一年生の皆さんへ

一年学年主任

この一年は、コロナウイルスの恐怖・不安との戦いの毎日、本当に大変でしたね。そのような日々の中でも、皆さんは限られた状況や環境の中で柔軟に対応し、ベストを尽くしてきました。野外

活動や蒼天祭も温かさや発想力によって、いつも以上に盛り上がることでできるということを教えてくれたような気がします。

また、進路学習も始まり、自分自身の進路と真剣に向き合う様子も見られるようになりました。将来の自分を見据えて、一步一步、確実に自分の「道」を踏みしめて歩いていきましょう。

来年度もどのような年になるか、まだわかりません。しかし、この「陽だまり学年」の皆さんが最高学年として活躍する一年は、コロナウイルスに負けない希望に満ちあふれた素敵な香掛中学校になると私は信じています。



一年生の皆さんへ

一年学年主任

入学式の翌日から休校という異例のスタートでしたが、この一年間を振り返ると、様々な場面で活躍する皆さんの姿が思い出されます。校外学習では、計画通りに見学できるように、自分の役割を果たしたり、声を掛け合ったりする姿が見られました。体育大会や歌声の会では、同じ目標に向かって仲間と共に頑張ったり、全力を尽くしたりする姿が見られました。感染症対策に戸惑いながら始まった学校生活を、このように充実したものにすることができたのは、皆さんの努力はもちろんですが、手本となり引っ張ってくれた三年生のおかげでもあります。その大きな背中を、ぜひ心に留めておいてください。

来年度は、二年生として後輩・先輩を支えることが求められます。よく考え、判断し、自分から行動できる人を目指しましょう。皆さんの更なる成長を楽しみにしています。



三年間を振り返って

三年一組

義務教育は何のためにあるのでしょうか。文部科学省によると「生きる力を育むため」と示されています。

僕は初めて学級委員になりました。そこで自分は「クラスのために何ができるのか」と不安を感じました。しかし、声かけやクラスをまとめることに苦戦しながらも、それを支えてくれる仲間がいました。そのおかげで一人の人間として成長できたと思います。

この学級委員としての経験を通して、僕は自分なりの「生きる力」を育むことができたと思います。

三年二組

僕は、三年間学級委員を務めてきました。その中で一番成長したと思うことは、人との関わり方だと思っています。今、僕には大好きな友人がたくさんいます。関わり方を意識したことでその人の良いところをたくさん見つけることができて、見つけてもらったりできたと思います。僕がこの三年間喧嘩がなかったのは、自分のことをよく知ってくれている人がたくさんいたからだだと思います。それぞれ違う進路に向かうのは、少し寂しいですが、この三年間で学んだことを進学先でも生かしたいです。

三年三組

僕は、中学校に入学する少し前まで新しい仲間と仲良くやれるか、勉強は大丈夫かなどたくさん不安がありました。実際に入学してからは、勉強が忙しくて自分のやりたいことができなかったり、人間関係で悩んだりしたこともありました。しかし、学校の行事や普段の生活を通して、多くの仲間や先生方と関わることができ、多様な意見や考え方に触れることで周りの意見に合わせることも大事だが、自分の意見をしっかりと伝えることも大事だと気付くことができました。高校生になってからも楽しいことばかりではないと思いますが、中学校生活で成長したことが発揮できるように頑張っていきたいです。

三年四組

私は三年間で人は変われるということと学びました。私は、二・三年生で初めてのことによく挑戦し、行事も目標を立て真剣に取り組むようになりました。常に目標があることで一年生の時より気持ちに楽になり、毎晩次の日がすごく楽しみにになりました。三年生では、学級委員になり、一人ではやりきれないことも多くありましたが、そこで助けてくれる友達が多くできました。そして何より、本当の楽しさを教えてくださり、誰よりも応援してください。担任の先生に出会い、人生の宝物となる三年間になりました。



三年五組

以前の僕は、新しいことに挑戦する時すぐに「無理、面倒臭い」と、物事に対して後ろ向きに考える性格でした。しかし、体育大会の応援団として、応援演技の振り付けをクラスメイトに教えたことや、文化祭で発表した学級の劇で、観ている人を楽しませるように、練習や衣装づくりに夢中で取り組んだことを通して、今まで味わったことのない達成感を得ることができました。クラスのみんなでもやり遂げた行事を通して、「何事も挑戦する」ということの大切さを学ぶことができました。

三年六組

私は三年間を通して、様々な実行委員に取り組んできました。でも今年は修学旅行の行き先が変わったり、行事が小さくなったりして、全校生徒で体育館に集まったことは一度もありません。そして実行委員をする中で、いつもコロナの感染予防について考えなければいけませんでした。それでも、私たちが少しでも思い出が作れるようにと動いてくださった先生方と家族には感謝しかありません。日常が当たり前じゃなく、友達と学校で過ごせる時間が幸せなことを学んだ三年間でした。

けやき学級

中学校生活の一番の思い出は、修学旅行です。大雨の中、富士山に行って疲れました。ウォークラリーでは、なかなかポイントを見つけれなかったけど楽

しかったです。最終日には、きれいな富士山が見えました。

私は高校生で、今まで苦手だった友達づくりを頑張りたいです。勉強も友達同士で聞き合ったりして、楽しい学校生活を送りたいと考えています。また、パソコンの授業も一生懸命頑張りたいです。社会に出て役に立つ資格を取りたいです。



今年度を振り返って

二年代表 二年五組

今年度はコロナウイルスの影響で常にマスクをして生活したり、友達との距離を意識したりするなど、いつもより学校生活が大変でした。しかし、そのような中でも自分たちにできることを考え、学校全体が一つになって体育大会や文

化祭を開催することができました。限られた状況にに応じてベストを尽くすことができるようになったことが今年の成長だと思っています。来年度は、その成長を生かして、最高学年としてみんなを引っ張り、コロナウイルスに負けない杏掛中をつくっていききたいです。

一年代表 一年五組

この一年を振り返って、僕は「協力」することで成し遂げられることを学べたと思います。入学当初は、学年全体が仲良くしたり、団結したりできるのか、など不安もありました。しかし、今では協力し合える関係になれたからこそ、体育大会や文化祭の練習なども熱心に取り組めたと思います。本番でも仲間と信頼し合っているから、体育大会での応援や文化祭での合唱などもクラスごとではなく、学年全体が一つになっていたと思います。この協力し合える関係をクラスが替わっても保ち、笑顔あふれる学年にしたいです。

